

会 議 録

会議の名称		令和5年度吾妻学園コミュニティ・スクール（CS）協議会		
開催日時		令和5年5月11日 開会14時00分 閉会16時15分		
開催場所		つくば市立吾妻小学校 会議室		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	津田直会、西村大介、吉田周子、野本高志、吉田麻子、 三部 勉、井上波彦、国府田友康、木塚朝博、長屋和宏 吾妻中学校 校長 尾見裕史、教頭 諏訪恵美 教務主任 中田匡紀 吾妻小学校 校長 園田浩美、教頭 川島真由美 教務主任 大塚篤史		
	その他	教育長 森田 充、教育局長 吉沼正美、次長 坂田博之、 教育総務課 課長補佐 飯村賞賜 学び推進課 課長 岡野知樹、参事 久松和則		
	事務局	生涯学習推進課 課長 澤頭由紀子、社会教育主事 渡邊亮 太、社会教育主事 村上和宏、地域連携教育指導員 酒井和 宏、社会教育指導員 佐藤 博		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 学校運営の基本方針について (2) 学校の教育活動や地域の活動事例 (3) 熟議「地域人材を活用した教育活動について」		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 挨拶 4 説明事項（つくば市CS導入について） 5 会長・副会長の選出 6 協議 7 閉会			
<審議内容> 1. 任命書交付 代表者一名（50音順） 井上委員 2. 地域学校協働活動推進委員 委嘱 長屋委員 ※その他の方々は非常勤委員 守秘義務が生じるので注意 3. 森田教育長あいさつ				

昨年度、吾妻学園はモデル地域として12月の教職員CS研修会にて発表。他学園のアンケートより不安が取り除けた等の記載あり。本年度より吾妻学園は「協議会」となる。未来を担う子供たちのため、学校と地域の力を掛け合わせ、今後も学校と地域が一体となって進めていく必要がある。

4. 自己紹介

5. 教育局 渡邊社会教育主事より説明

(1) これからの学校と地域について

学校と地域に求められるものは？

- ・学校だけでは得られない体験がある。
- ・社会に開かれた教育課程 つくば市教育大綱P. 7の説明
CSと地域学校協働活動の一体的推進

(2) CSについて

CSとは、学校運営協議会を設置している学校をいい、その協議会の委員に、学校関係者、PTA、地域住民等が選出される。学校運営協議会の3つの機能①熟議②協働③マネジメントが大切である。

(3) 地域学校協働活動について

(4) 学校運営の基本方針について

6. 会長・副会長の選出

会長：国府田様 副会長：木塚様 全会一致で決定

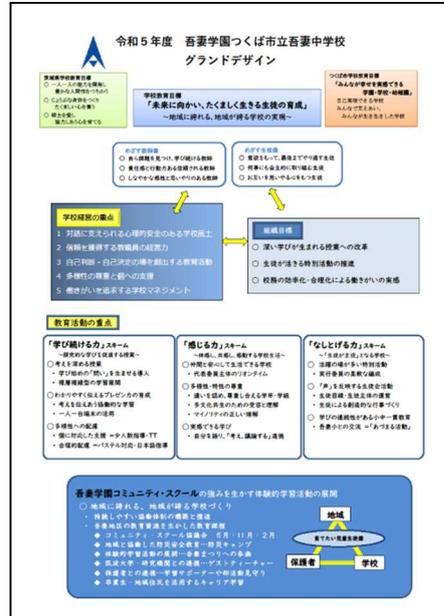
7. 議事

(1) 学校運営方針の説明

学園、学校グランドデザイン（各校長）、教育活動紹介（各教務主任）



(吾妻小グランドデザイン)



(吾妻中グランドデザイン)

・Q. とてもわかりやすいデザインと説明で、感動した。そのままで良いが「小学校の「Art」は「Arts」の方が、内容に合っているのではないか。(木塚委員)

A. そのようにする方向で考えていきます。(園田委員)

→ 全会一致で学校の運営方針を承認

(2) 長屋委員より地域の活動事例について

ア 防災手帳

子供向け(小学生版と中学生版)と大人向けの内容が書いてある。開くと防災マップになっている。7月に小学校では防災授業(おやじの会)、中学校には配付。どの立場で配付するか、CS協議会として配付してはどうか。皆様に同意を得たい。

・ Q. 英語版があると助かる。地図だけでも良い(吉田委員)

A. 地図だけであればハードルは低い。表面は外国の文化についても掘り上げる必要がある。(長屋委員)

・ Q. 配布に当たっての予算は? CSの成果を目に見える形として発信できる素晴らしいもの(野本委員)

A. CSの予算で出せると助かる。相談させていただきたい。(長屋委員)

(3) 熟議 ファシリテーター: 川島委員

・ 4グループ

・ ①10分(話し合い) ②全体共有 ③15分(話し合い) ④全体共有

<出された意見等>

○人材バンクをどうするかが鍵。

・ 個人情報管理が課題

・ 身近な人材、歴代PTA会長のネットワークは大きい

・ 卒業生のネットワーク、大学3、4年、M1、2年付近

・ 外国人保護者に対して

・ 学校関係でない地域の人材・・・費用面の課題、広告などの手段は使えるか

・ 人集めにSNS(ツイッター、インスタなど)を使うとたくさんネットワークができる ※関係ない人も入ってきてトラブルが懸念される。

○取組内容

・ 新しいものも取り入れていきながら、今まで取り組んできたものもコロナで十分にできなかった部分があるので復活させる

・ 教育課程の中学校ではキャリア教育で「ようこそ先輩」、小学校では環境教育で「ホタル池」

・ 子供の興味関心を発信にすることが大切

・ 協議会を子供からの提言も発表できる場にしたい

・ 外国人保護者に外国の料理を教えてくれる

・ 大学の各学部の人材、資源を活用した取り組み

8. その他

・ (国府田委員) 市に人材バンクはあるか

→生涯学習推進課「あります。様々な種類の人材バンクが点在している。」

・ 今後の予定(諏訪委員)・・・第2回 11月17日 吾妻小学校

第3回 2月22日 吾妻中学校

令和5年度第1回吾妻学園（学校）コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和5年 5月11日（木）

14：00～

場所：吾妻小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介

(3) 地域人材を活用した教育活動について

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会



令和5年度 吾妻学園つくば市立吾妻中学校 グランドデザイン

茨城県学校教育目標

- 一人一人の能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

学校教育目標

「未来に向かい、たくましく生きる生徒の育成」
～地域に誇れる、地域が誇る学校の実現～

つくば市学校教育目標

**「みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園」**
自己実現できる学校
みんなで支えあい、
みんなが生き生きした学校

めざす教師像

- 自ら課題を見つけ、学び続ける教師
- 責任感と行動力ある信頼される教師
- しなやかな感性と思いやりのある教師

めざす生徒像

- 意欲をもって、最後までやり通す生徒
- 何事にも自主的に取り組む生徒
- お互いを思いやる心をもつ生徒

学校経営の重点

- 1 対話に支えられる心理的安全のある学校風土
- 2 信頼を獲得する教職員の経営力
- 3 自己判断・自己決定の場を創出する教育活動
- 4 多様性の尊重と個への支援
- 5 働きがいを追求する学校マネジメント

組織目標

- 深い学びが生まれる授業への改革
- 生徒が生きる特別活動の推進
- 校務の効率化・合理化による働きがいの実感

教育活動の重点

「学び続ける力」スキーム

～探究的な学びを促進する授業～

- 考えを深める授業
 - ・ 学び始めの「問い」を生ませる導入
 - ・ 複層複線型の学習展開
- わかりやすく伝えるプレゼンカの育成
 - ・ 考えを伝えあう協働的な学習
 - ・ 一人一台端末の活用
- 多様性への配慮
 - ・ 個に対応した支援 = 少人数指導・TT
 - ・ 合理的配慮 = パステル対応・日本語指導

「感じる力」スキーム

～体感し、共感し、感動する学校生活～

- 仲間と安心して生活できる学校
 - ・ 代表委員主体のリオンタイム
- 多様性・特性の尊重
 - ・ 違いを認め、尊重し合える学年・学級
 - ・ 多文化共生のための受容と理解
 - ・ マイノリティの正しい理解
- 実感できる学び
 - ・ 自分を語り、「考え、議論する」道徳

「なしとげる力」スキーム

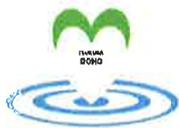
～「生徒が主役」となる学校～

- 活躍の場が多い特別活動
 - ・ 実行委員の柔軟な編成
- 「声」を反映する生徒会活動
 - ・ 生徒目線・生徒主体の運営
 - ・ 生徒による創造的な行事づくり
- 学びの連続性がある小中一貫教育
 - ・ 吾妻小との交流 = 「あづまる活動」

吾妻学園コミュニティ・スクールの強みを生かす体験的学習活動の展開

- 地域に誇れる、地域が誇る学校づくり
 - ・ 持続しやすい協働体制の構築と推進
 - ・ 吾妻地区の教育資源を生かした教育課程
 - ◆ コミュニティ・スクール協議会 5月・11月・2月
 - ◆ 地域と協働した防災安全教育…防災キャンプ
 - ◆ 体験的学習活動の展開…吾妻まつりへの参画
 - ◆ 筑波大学・研究機関との連携…ゲストティーチャー
 - ◆ 保護者との連携…学習サポーターや部活動見守り
 - ◆ 卒業生・地域住民を活用するキャリア学習





吾妻学園教育目標: 未来に向かいたくましく生きる児童生徒の育成

吾妻学園の目指す児童・生徒像

1 生涯にわたって学びつづけていくことのできる児童・生徒		
2 思いやりの心を育むことのできる児童・生徒		
3 最後までものごとをなすとげていくことのできる児童・生徒		
1~4年	5~7年	8~9年(書き理性)
学ぶことが楽しい 友達の気持ちを考える あきらめず活動できる	学び続ける意欲をもてる 思いやりの大切さを感じる 創り上げる喜びを知る	生涯に渡り学びを継続する 思いやりの心で行動できる より良いものを創り上げる

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市の目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校
(自己実現できる学校・みんなが支え合い、みんなが生き生きとした学校)

本校経営目標 児童も教職員も一人一人が良さを生かして生き生きと活躍できる学校づくり

研究テーマ: 探究活動を核とした学びメイキングの工夫～管理から自己決定へ～



あ あかるいえがお あったかい心

づ まなびつづける ZOOM UP

ま まんかいの花 Making

あづまっこ 世界にはばたけ オンリー1

地域と共に歩むコミュニティスクールの推進

吾妻まつり・防災活動等、行事への参加を通じた「心のふるさと」づくり

安心して夢を語り合い、共に楽しむ体制整備

U p

世界の国々との対話
地域を生かした学び
(大学・研究所等)
防災教育の推進

外部講師との連携

学びつづける力

M aking

学びと生活メイキング
・自分と向き合うメイキング
・仲間とつながりメイキング
学校行事メイキング(自分
違てチャレンジ!)
振り返り
さわやか活動 あづまる活動
なすとげる力

Z oom

問題見つけ!タイム

ZOOM UPタイム
(自分の課題を探究・考
察・議論)

振り返りタイム

感じる力

AZUMAの手創り

A CCept

明るくあたたかい心
多様性を受け入れる(聴き
合い)
子供から子供への思いやり
リレー
あいさつ・読書活動の推進
AZUMAフォーラム

A rt

創り出したものを発信・表
現(アップデート)
一人一人の活躍の場・お互
いの良さを認め合う場
幸せ実感! オンリー1!
吾妻小で良かった

はなみずき教職員 組織目標

- 1 児童一人一人の良さを生かした学びがいのある授業づくりの実現
- 2 教職員一人一人の良さを生かした働きがいのある学校づくりの実現



令和5年度つくば市吾妻学園コミュニティ・スクール推進会議
(第1回：5月11日木曜日)

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	グループ番号
1	(1) 児童・生徒の保護者	津田 直会	つだ なおえ	吾妻中学校PTA 会長	1
2	(1) 児童・生徒の保護者	秋山 英三	あきやま えいぞう	吾妻中学校PTA 副会長	4
3	(1) 児童・生徒の保護者	金 京花	きん きょうか	吾妻中学校PTA 副会長	3
4	(1) 児童・生徒の保護者	西村 大介	にしむら だいすけ	吾妻小学校PTA 会長	2
5	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 周子	よしだ しゅうこ	吾妻小学校PTA 副会長	1
6	(1) 児童・生徒の保護者	村谷 匡史	むらたに まさふみ	吾妻小学校PTA 副会長	3
7	(2) 地域住民	野本 高志	のもと たかし	吾妻小学校 学校評議員	4
8	(2) 地域住民	吉田 麻子	よしだ あさこ	吾妻小学校 学校評議員	4
9	(2) 地域住民	今井 孝	いまい たかし	吾妻小学校 学校評議員	1
10	(2) 地域住民	久松 尚	ひさまつ たかし	主任児童委員	2
11	(2) 地域住民	三部 勉	みべ つとむ	吾妻おやじの会 代表	3
12	(2) 地域住民	井上 波彦	いのうえ なみひこ	吾妻まつり実行委員会 代表	2
13	(3) 各学校長・教職員	尾見 裕史	おみ ひろし	吾妻中学校 校長	2
14	(3) 各学校長・教職員	諏訪 恵美	すわ えみ	吾妻中学校 教頭	4
15	(3) 各学校長・教職員	中田 匡紀	なかた まさき	吾妻中学校 教務主任	3
16	(3) 各学校長・教職員	園田 浩美	そのだ ひろみ	吾妻小学校 校長	1
17	(3) 各学校長・教職員	川島 真由美	かわしま まゆみ	吾妻小学校 教頭	3
18	(3) 各学校長・教職員	大塚 篤史	おおつか あつし	吾妻小学校 教務主任	2
19	(4) 学識経験者	木塚 朝博	きづか ともひろ	筑波大学	2
20	(4) 学識経験者	国府田 友康	こくふた ともやす	吾妻中学校元校長 保護司	1
21	(5) 関係行政機関の職員	布浦 万代	ふうら まよ	市国際交流協会 理事長	1
22	(6) 教育委員会が適当と認める者	長屋 和宏	ながや かずひろ	吾妻学園地域学校コーディネーター	4
23					
24					
25					

つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の5に規定する学校運営協議会に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 つくば市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地域の住民、保護者その他の関係者（以下「地域住民等」という。）が学校の運営に積極的に参画することにより、地域住民等の意向を学校の運営に的確に反映し、一層地域に開かれた信頼される学校づくりを実現するとともに、学校と地域住民等が連携協力し、学校を核としたコミュニティづくりを進めるため、別表に掲げる小中一貫型小学校・中学校（つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則（昭和62年つくば市教育委員会規則第8号。以下「学校管理規則」という。）第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校をいう。）及び義務教育学校（以下「学園等」という。）ごとに、法第47条の5に規定する学校運営協議会としてコミュニティ・スクール協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第3条 協議会は、学園等に係る次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 法第47条の5第4項の承認に関すること。
- (2) 法第47条の5第5項の規定に基づく情報の提供に関すること。
- (3) 法第47条の5第6項及び7項の規定に基づく意見の申出に関すること。
- (4) 学園等の運営状況の評価に関すること。

2 前項第4号の評価は、毎年度1回以上行うものとする。

(組織)

第4条 協議会は、学園等ごとに、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命し

た委員 30 人以内をもって組織する。

- (1) 学園等の通学区域内に居住する住民
 - (2) 学園等に在籍する児童又は生徒の保護者
 - (3) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 9 条の 7 第 1 項に規定する地域学校協働活動推進員その他の学園等の運営に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験者
 - (5) 各学校長
 - (6) 教職員
 - (7) 関係行政機関の職員
 - (8) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者
- （委員の任期）

第 5 条 委員の任期は、任命の日からその任命の日の属する年度の末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第 6 条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。ただし、各学校長、教職員及び関係行政機関の職員は、会長及び副会長となることができない。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第 7 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。ただし、会長及び副会長が選出されていないときは、教育委員会が招集する。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。
- 4 議決事項について個人的に利害を有する委員は、当該議決事項に関して議決権を有しないものとする。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、学園等の運営に関する事項について、学校長及び教職員から報告及び説明を求めることができる。

(部会)

第8条 協議会は、その運営に必要と認めるときは、協議会に部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長が指名する委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、会長が指名する。
- 4 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、会長の指名する部会の委員が部会長の職務を代理する。
- 5 第6条第3項及び前条(第1項ただし書を除く。)の規定は、部会について準用する。この場合において、第6条第3項並びに前条第1項本文、第3項及び第5項中「会長」とあるのは「部会長」と、第6条第3項並びに前条第1項本文中「協議会」とあるのは「部会」と、同条第2項から第4項までの規定中「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。

(委員の責務)

第9条 委員は、適切にその職務を遂行しなければならない。

- 2 委員は、協議会の運営に支障を来す行為をしてはならない。
- 3 委員は、その地位を営利活動、政治活動、宗教活動等に利用する行為をしてはならない。
- 4 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 5 第2項から前項に掲げるもののほか、協議会の委員としてふさわしくない行為

をしてはならない。

(委員の罷免)

第10条 教育委員会は、委員が心身の故障のため職務の執行ができないと認める場合又は委員に職務上の義務違反その他委員としてふさわしくない行為があると認める場合は、当該委員を罷免することができる。

2 学校管理規則第23条の2第1項に規定する学園長及び義務教育学校の校長は、委員が前項の場合に該当すると認めるときは、直ちに教育委員会に報告しなければならない。

(委員の辞任)

第11条 委員は、正当な事由があるときは、教育委員会に辞任を申し出ることができる。

(庶務)

第12条 協議会の庶務は、学園等において処理する。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表 (第2条関係)

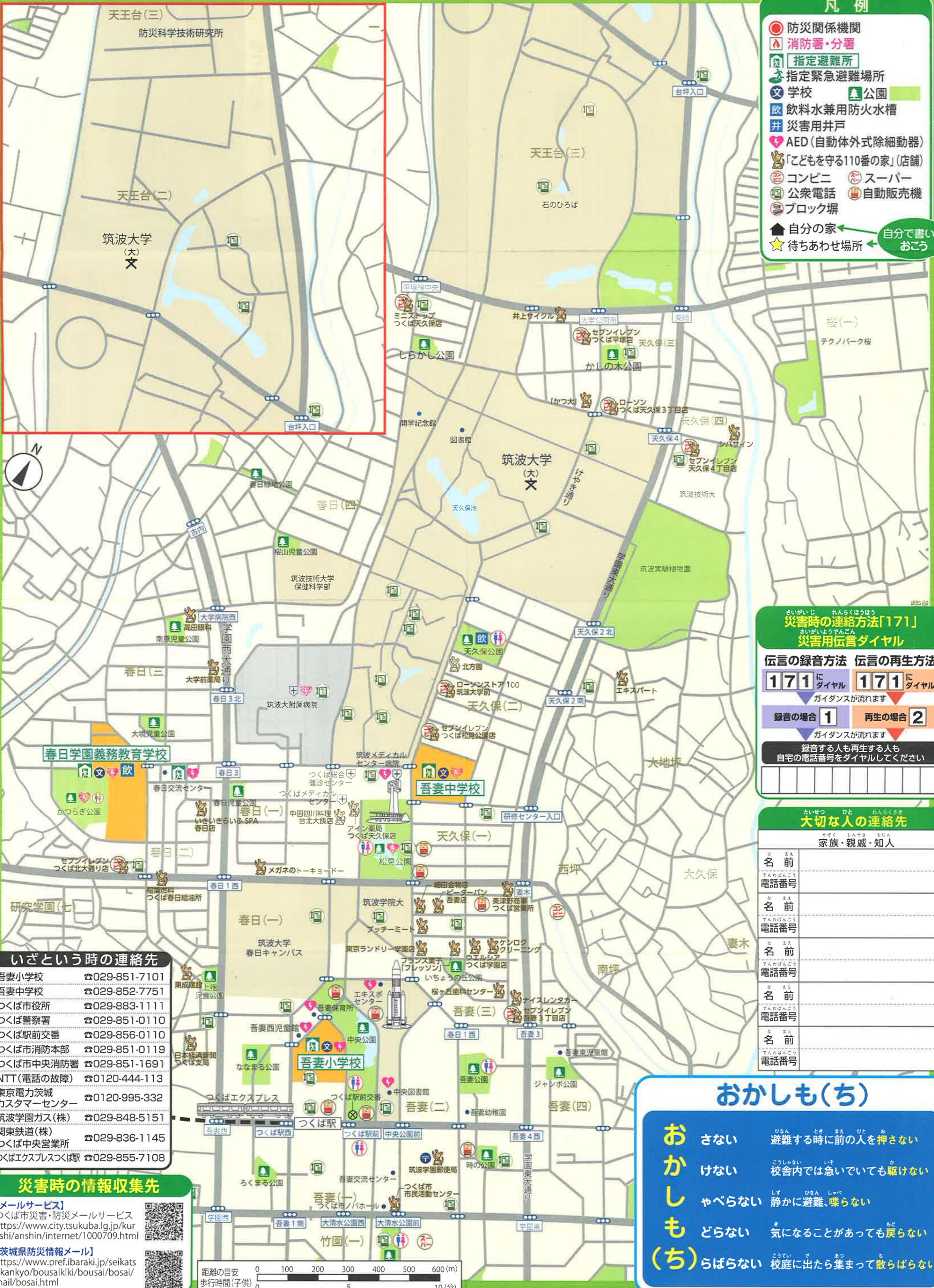
協議会を置く学園等
吾妻学園

吾妻学園防災マップ

発行年月:令和2年(2020年)3月
 発行:吾妻学園おやじの会
 編集協力:国土技術政策総合研究所
 吾妻小学校PTA
 吾妻中学校PTA

凡例

- 防災関係機関
 - 🔥 消防署・分署
 - 🏠 指定避難所
 - 🏠 指定緊急避難場所
 - 🎓 学校
 - 🌳 公園
 - 🍷 飲料水兼用防火水槽
 - 🕒 災害用井戸
 - 👤 AED(自動体外式除細動器)
 - 👤 「こどもを守る110番の家」(店舗)
 - 🛒 コンビニ
 - 🛒 スーパー
 - ☎ 公衆電話
 - 📺 自動販売機
 - 🏠 ブロック塀
 - 🏠 自分の家
 - ★ 待ち合わせ場所
- 自分で書いて
おこう



災害時の連絡方法「171」 災害用伝言ダイヤル

伝言の録音方法 伝言の再生方法

171にダイヤル 171にダイヤル

ガイダンスが流れます

録音の場合 1 再生の場合 2

ガイダンスが流れます

録音する人も再生する人も
自宅の電話番号をダイヤルしてください

大切な人の連絡先

家族・親戚・知人

名前	
電話番号	

- ### いざという時の連絡先
- 吾妻小学校 ☎029-851-7101
 - 吾妻中学校 ☎029-852-7751
 - つくば市役所 ☎029-883-1111
 - つくば警察署 ☎029-851-0110
 - つくば駅前交番 ☎029-856-0110
 - つくば市消防本部 ☎029-851-0119
 - つくば市中央消防署 ☎029-851-1691
 - NTT(電話の故障) ☎0120-444-113
 - 東京電力茨城カスタマーセンター ☎0120-995-332
 - 筑波学園ガス(株) ☎029-848-5151
 - 関東鉄道(株) ☎029-836-1145
 - つくばエクスプレスつくば駅 ☎029-855-7108

災害時の情報収集先

【メールサービス】
 つくば市災害・防災メールサービス
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kurashi/anshin/internet/1000709.html>

【茨城県防災情報メール】
<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/bosai/mail/bosai.html>

おかしもち

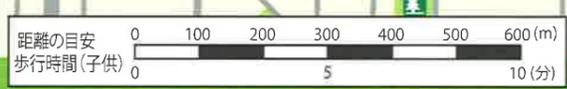
おさない 避難する時に前の人を推さない

おかし 校舎内では急いでも駆けない

しもち 静かに避難、喋らない

も 気になることがあっても戻らない

(ち)らばらない 校庭に出たら集まって散らばらない



吾妻学園防災手帳

取扱説明書



「いざという時、大人にも子どもにも役立つものに」

内容	ページ
本手帳の仕様	1
防災マップの使い方	2
手帳作成の目的	3
使用上の注意	3
学校防災手帳について	4
携帯のアイデア	4
学校防災手帳の使い方	裏面

発行：吾妻学園おやじの会
 編集協力：吾妻小学校PTA、吾妻中学校PTA
 つくば市教育委員会 教育総務課、
 国土技術政策総合研究所

本手帳の仕様

災害時に役立つ情報と防災マップ
 A3両面印刷の折り畳み式

子ども版



大人版



開いた内側は
 防災マップ



防災マップの使い方（基本的な使い方）

以下の内容を子どもが書き入れます。

- ・自宅の位置、災害時の待ち合わせ場所（マークはマップ右下凡例参照！）
- ・通学路

通学路の目印を書いて、地区内の自宅・待ち合わせ場所の位置関係を認識できるようにします。いつでも見て、書き込めるようにランドセルに入れて携行しましょう。

吾妻学園防災マップ

【公共電話の活用】
 東日本大震災の際は携帯電話は使えず、公共電話が比較的つながりやすかった。

【まちの中の危険なモノ】
 地震の時にブロック塀などは倒れてくるかも？
 他にも地震や洪水の時に危ないモノを書き込もう。

【色を塗ろう！】
 地区内の自宅・待ち合わせ場所の位置関係を認識するために色を塗ろう！
 エキスపోーターのロケット、松見公園のタワー、TXの電車も塗ろう。

【書き込もう！】
 必要な情報を書き入れ、我が家オリジナルのマップにしましょう！

【災害用伝言ダイヤル】
 災害時にNTTより提供が開始される声の伝言板
 ・直接連絡が取れないときに活用します。
 ・体験利用提供日（毎月1日と15日など）を活用し、練習しておきましょう。
 ・公共電話の使い方も練習しましょう。

【大切な人の連絡先】
 遠方の親戚・知人など、自宅地域以外の連絡先も控えておくと、非常時に家族との連絡手段となります。

【おかしも(ち)】
 学校などで火災や自然災害が発生した時に、校舎の外に避難する際の注意点を示す標語です。必ずしもこの注意点があてはまらないときもあります。災害時は臨機応変に対応しましょう

手帳作成の目的

- ・手帳とマップを家族で読むこと、眺めることで、地域、学校、家庭のそれぞれで災害や事故から身を守ることを考えます。
- ・地域の人たちが、子ども達は防災手帳を携行していることを知り、もしもの時にそれぞれの子どもの対応を促します。

使用上の注意

- ・子どもも大人も、まずは自分の身を守ることを考えましょう。
- ・災害時に必要な情報は各家庭で異なります。家族みんなでよく読み、話し合いながら、必要な情報を書き込み、オリジナルの防災手帳にしましょう。
- ・書き込んだ情報は、定期的に見直しましょう。

学校防災手帳について

「学校防災手帳」は茨城県教育庁の「地域と学校が連携した防災教育モデル事業」の指定（平成26年度）を受けた吾妻小学校（吾妻学園）の成果を保護者（吾妻学園おやじの会）が中心となり取りまとめ「いざという時、大人にも子どもにも役立つもの」として企画・編集されたものです。現在、これを参考に、市内の他の学校へ展開が進んでいます。

携帯のアイデア

- いつでも見て、書き込めるように、
- ・子どもは、ランドセルに入れておきましょう。
 - ・保護者は、ファスナーケース等に鉛筆とともに入れておきましょう。



学校防災手帳の使い方 (基本的な使い方)

子ども版

- 家族と一緒に読みましょう。災害が起きた時に子どもが、「自分で確認すること」、「まわりの大人に知ってもらうこと」、の手帳の構成と記載内容を把握しましょう。
- 「引き渡し」について、誰が、どの順番で来るのか(兄弟姉妹がいる場合)を確認し、どのくらい待つか理解しましょう。
- 「待ち合わせ」は、災害発生時の時間帯別に適切な場所を考えましょう。
- 「まわりの人に伝えたいこと」は、大人の目線で、子どもの安全を考えた時に必要なことを記入しましょう。

例) 健康のこと・・・アレルギーがある、薬を服用中、など。
 家族の約束事・・・〇〇さんの家で待たせてもらうこと。

大人版

- まず、災害発生時の「イメージトレーニング」を始めましょう。
- 情報の収集方法を裏面防災マップ「災害時の情報収集先」で確認しましょう。
- 子どもたちの引き渡しについて、確認しましょう。小・中学校両方にお子さんがある家庭は、引き渡しの順番に注意しましょう。
- 必ずしも「災害発生→避難所へ」とは限りません。災害の状況を踏まえて判断しましょう。

例) 地震後は自宅に異状が無ければ、在宅避難

- 備えは大丈夫ですか? 新しい住宅では、避難所に行くよりも自宅で過ごすことを考える方が現実的です。それぞれの家庭に合わせ、備蓄するものの種類、数を考えましょう。



もしもの時に
自分で見ること・まわりの人に見せること

「やっておこう!」カバンに入れる前にチェック!

家族との待ち合わせは決めましたか?
 まわりの人に伝えたいことは書き込みましたか?

「これもやってみよう!」

「防災マップ」に家の場所、待ち合わせ場所、通学道を確かめる。
 ロケットや公制の自印をもらう。
 家族で防災会議を開こう。家の中の安全を確認しよう。
 おぼえておこう! 応急ダイヤル119

「子ども版表紙」
 チェック項目がまとめてあります。
 使い方をご家庭で確認しておきましょう。

「地震が起きたら」
 地震が発生したときに、自分の身を守るためにしなければいけないことを記載しています。
 読んで改めて考え、子どもと共有しましょう。

もしもの時に自分で見ること

地震が起きたら・・・

- 揺れがおさまるまで
 - ① 落ちるもの、倒れてくるもの、高いところのものから離れましょう。
 - ② 低い姿勢で身を低くし、じっとしましょう。
 - ③ 近くに丈夫な机やテーブルがある場合は、下にもぐりましょう。
 - ④ 料道中は、壁で火は消さず、身を守りましょう。ガスやIHヒーターは勝手に消えます。
 - ⑤ 外では、ガラスや看板が落ちてくるがあるので、建物から離れて広い場所に行きましょう。
- 避難するとき
 - ① 倒れたガラスやガレキでケガをしないようしっかりと身を覆いましょう。
 - ② 避難中に大きな地震が来る可能性があります。倒れた建物や階段に近づかないようにしましょう。
 - ③ 必ずすぐに必要なものだけを持って避難しましょう。
- どうしたらよいかわからないとき
 - ① まわりのひとに頼んで、安全な場所に連れて行ってもらうようにしましょう。
 - ② 声かけてください! 「安全な場所に連れて行ってください」とまわりの人に呼びかけましょう。

まわりの人に伝えたいこと

私は _____ してください。

アレルギーなど _____ があります。

「引き渡しについて①」
 迎えを待つ子ども自身が、自分の迎えについてしっかりと把握できるように記載しています。

まわりの人に見せること 引き渡しについて

緊急時の引き渡し。() 緊急時は、保護者が子どもを迎えに行きます。どちらかに○をつけておこう。() 緊急時すぐに迎えに行けません。待機させてください。

代理引き渡り者(上記にかかわらず、保護者が引き渡さない場合の代理引き渡り者)

優先順位	氏名	連絡先	本人との関係	学校に届くまでの移動手段
1	(記入) 吉野すみれ	000-0000-0000	高校生の子	勤務先・保育園・学校(35分)
2				
3				

引き渡しカード(家庭用)

引き渡し先	引き渡し場所	引き渡し時間	引き渡し方法
自宅	自宅	平日 18:00~21:00	徒歩
学校	学校	平日 17:00~18:00	徒歩
その他			

家族との待ち合わせ

① 学校の行き帰りのときは ()

() 家に帰る / () 学校に行く

② 学校にいるときは () 学校に残る () 別の場所へ移動する

③ 学校が終わってから ()

④ 学校が終わってから ()

⑤ 学校が終わってから ()

⑥ 学校が終わってから ()

⑦ 学校が終わってから ()

⑧ 学校が終わってから ()

「安全確保のために」
 お子さんの健康のことなど、まわりの人に伝えたいことを書きましょう!
 また、家族防災会議を開き、お子さんとの約束事を決めて書いておきましょう。



「まずイメージトレーニング!」

心の準備 その時、あわてないために
 災害発生後を、も日頃から。

災害時のイメージトレーニング

- 「情報を集めること」へ!
 情報収集先を知り、自ら災害の情報収集の準備をしておきましょう!
- 「子どもに会うこと」へ!
 子どもをどこに迎えに行くか、子どもを確認しておきましょう!
- 「家族がどこにいるのか把握しよう」へ!
 災害が発生した時に家族に会えますか?
- 「もしものために備えること」へ!
 救護物資に期待せず、最低3日乗り切る準備をしましょう!

1 情報を集めること
 情報はそのうち来るとは思いませんか?

市からの情報
 市から情報発信していますが、停電等により情報が受け取れない場合もあります。

学校からの情報
 通信インフラのダウンにより、学校からの情報発信が不可能になることがあります。

裏面防災マップ「災害時の情報収集先」へ
 信頼性の高い情報(公的機関など)を収集しましょう。

2 子どもに会うこと
 その時間、子どもをどこに会わせるか、ルール、流れ、知っていますか?

「引き渡しについて②」
 学校にいるとき、それぞれの家庭に当てはめて考えてみましょう

引き渡しの基本的な考え方

自主的に! 停電・通信インフラのダウンで、学校からの情報発信が不可能になるかもしれません。

徒歩で! 学校の駐車場は狭いこと、道路状況により到着が遅れること等から、スムーズに子どもの引き渡しを受けられない可能性があります。できる限り、徒歩で行きましょう。

中学生から! 年齢の低い子どもを連れて行動するのは大変です。中学校に兄弟姉妹がいるときは、中学生から先に引き渡しを受けましょう。

コラム 避難場所と避難所

【緊急指定】避難場所
 災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所のことです。つくば市では、広域の避難場所として7箇所の「緊急指定避難場所」を指定していますが、必ずしも「緊急指定避難場所」に逃げなければいけないわけではありません。また、全学校などで「防災倉庫」が併設されています。

【指定】避難所
 災害で住居を失った人などが、一時的な生活場所として、滞在することができるところです。つくば市では、学校や地域交流センターなどの屋内施設、約100箇所が指定されています。

避難場所
 避難所

3 家族がどこにいるのか把握しよう
 災害が発生した時に家族に会えますか?

行動の変化が多い時間帯を把握 15~19時頃には要check

今、家族はどこにいますか? 災害発生後の家族との連絡やお迎えなどに非常に重要な情報です。下の表に、家族の行動を書いておきましょう。

時間	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
15:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
16:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
17:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
18:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
19:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
20:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
21:00	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅

「家族はどこにいる?」
 曜日に家族はどこにいるか知っていますか?
 週間スケジュールを書いてみましょう。

4 もしものために備えること
 今の備えで、十分ですか?

非常時のための備蓄

① 大規模災害の場合、被災者に十分な物資が届くまでには、少なくとも3日程度要します。つくば市では、約2万人に3日間供給することを想定した、水と食料の備蓄を進めています。災害によっては十分に行き渡らないこともあります。

② 避難所は、被災者に一時的な生活の「場」を提供するものです。食料だけでなく、衣類、寝具、常備薬、など最低限の生活に必要なものは、自ら考えて準備です。

準備品リスト

<ul style="list-style-type: none"> 懐電ラジオ 子供の電池 充電器 充電ケーブル 充電器 充電ケーブル 充電器 充電ケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭も) 健康保険証 はんこ 時給券 家族の連絡先など 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭も) 現金 現金 現金 現金 現金 現金 現金 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭も) 現金 現金 現金 現金 現金 現金 現金
---	--	---	---

「備品リストを我が家用にカスタマイズ!」
 必要なもの、個数は家庭によって違います。いつもの生活を振り返って考えましょう。

「情報は随時見直し!」
 記入した日をチェック!
 定期的に見直しをしましょう。

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和5年(2023年)11月17日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立吾妻小学校 図工室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	國府田友康 委員(会長)、木塚朝博 委員(副会長) 津田直会委員、西村大介委員、吉田周子委員 村谷匡史委員、吉田麻子委員、久松 尚委員 井上波彦委員、布浦万代委員、長屋和宏委員 吾妻中学校：尾見裕史 校長、諏訪恵美 教頭 中田匡紀 教務主任 吾妻小学校：園田浩美 校長、川島真由美 教頭 大塚篤史 教務主任		
	その他	富田和己 校長(板橋第十小学校) 塚本忠行 委員長(板橋第十小学校CS協議会)		
	事務局等	つくば市教育局 久保田靖彦 次長 教育局生涯学習推進課 色川純子 課長補佐 渡邊亮太 社会教育主事、村上和宏 社会教育主 酒井和宏 地域連携教育指導員、小島健 地域連携教育指導員		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議 題		1 これまでの学校の取り組みについて 2 協議「地域の中での学校の役割」		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 前回の会議内容の確認 3 これまでの学校の取り組みについて ・小学校 ・中学校 4 協議 (1) 情報共有 ・各小学校PTAより ・地域諸団体より (2) 熟議 テーマ「地域の中での学校の役割」 (3) その他 5 閉 会			

〈審議内容〉

1 開 会

- ・ 國府田会長挨拶

2 前回の会議内容の確認

- ・ 今後の方向性として、まずは今まで行っていた活動の復活（ホタル池観察会やようこそ先輩）、外国人保護者による料理教室、大学の活動や資源を活用した取り組みが良いのではないかと、子供たちの興味関心を発信することが大切ではないか等の意見が出されたことが確認された。

3 これまでの学校の取り組みについて

- ・ 児童によるプレゼンテーションのビデオを用いて、吾妻小学校の取組みが発表された。このことについて、井上委員（吾妻まつり実行委員会代表）から、「小学3年生4人がプレゼンしていたが、どのようなプロセスで4人が選出されたのか。」との質問があった。

園田吾妻小学校校長から、「子供たちは授業の中で日々プレゼンをしている。つくば市のプレゼンテーションコンクールに応募した多くのプレゼンの中でつくば市長賞に選ばれた発表である。」との説明があった。

4 協議

（1）情報共有

- ・ 吾妻小学校西村PTA会長、吾妻中学校津田PTA会長から、学校への協力体制等に関する話があった。
- ・ 地域諸団体として、おやじの会代表の長屋委員（コーディネーター）、吾妻まつり実行委員会代表の井上委員からの状況報告、および、オブザーバーの板橋第十小学校富田校長からの挨拶と同校の塚本CS推進委員長の紹介があった。

（2）熟議 テーマ「地域の中での学校の役割」

- ・ ファシリテーターは吾妻中学校諏訪教頭が担当、アイスブレイクの後、グループ討議が行われた。
- ① 学校と地域の連携の観点から、自分の子供時代を振り返って、よかったと思える取り組みについて話し合われた。
- ・ 大塚委員グループ：運動会の親子種目、保護者対抗種目。現代では個人情報の問題も感じる。下校時の防犯抑止活動では地域の力を借りられるとよい。
 - ・ 尾見グループ：運動会で出店が出たり、バザーで子供と保護者と地域のやり取りが学校の場で行われていたりした。学校行事の際、保護者の炊き出しがあった。

昔は校庭が子供の遊び場になっていた。

- ・西村委員グループ：昔は子ども会や育成会が子供とイベントを行っていた。学校は地域にあるが、先生方は地域の人とは限らない、働き方改革のためなかなか難しい。
- ・津田委員グループ：祭りでは、小学校が飾り付けを行い、中学校がみこしを担ぎ、地域の若手が小学生を主導して祭りをやっていた印象。今の吾妻まつりは子供たちをボランティアとして巻き込んでいるので理想的。学校の行事に参加することは、子供の新たな人間関係づくりによい。
- ・長屋委員グループ：運動会、バザー、「造形展」があった。造形展は、テーマに合わせて子供の作品を体育館に展示するもの。「水族館」がテーマのときは、体育館が水族館になる。作品づくりは学校で、展示するのは、地域の役割だった。

② ①で話し合ったことをもとに吾妻学園でどんなことに取り組みそうか、学校と地域の役割という視点で話し合われた。

- ・諏訪委員グループ：新しいことに新たに取り組むということよりも、学校の教育課程にどれだけ落とし込めるところがあるのかなという印象。学校の先生に地域の方が少ないことを考えると、地域とのつながりに負担感を感じては、かかわることが難しくなってしまう。地域と学校が一緒にやっていくには、学校が今までやってきたことが、どう地域とつながっていくか、地域がやりたいことをどう学校の授業に取り入れていけるか考える必要がある。例えば図工で作っているものにテーマを与え、学校で作りと、地域で展示するなど、役割を分担して活動できるのではないかと。吾妻まつりも、より子供たちがかかわれるように教育課程のこんなことが使えるとか、防災キャンプに中学生により参加してもらうためにはどういう授業と絡めていけばいいかを考えていくのがいいのではないかと。先生方にコミュニティ・スクールがあまり認知されていないので、先生方にもコミュニティ・スクールの場にかかわってもらえればアイデアもより出て地域への理解も進み、学校もより地域への活動に協力できるようになるのではないかと。
- ・川島委員グループ：吾妻地区は吾妻まつりが要にあるので、吾妻まつりをより進化させていったらどうか（もうかなり進化しているので、なかなか難しいかもしれないが）。子供たちだけでなく、保護者もより楽しくかかわってもらえるとよいと思う。ホテル祭りを吾妻から広げていけたらと感じる。
- ・園田委員グループ：西村吾妻小PTA会長と意見交換した。やり方は重要、やり方次第でいろいろできる、手の空いた人ができるときにできればよい、みんな同じ仕事ということではなく、それぞれが参加できるスタイルでかかわれるとよいという話があった。何かする際には顔合わせは対面で、そのあとはズームを使ったりもできる。吾妻小学校ではスクリーンで学校の様子を配信しているが、保護者

側は学校での活動や子供たちの様子が分かれば分かるほど、こんなことができる
と提案しやすくなるし、学校側も雰囲気伝えることで声がかかり、重要なこと
だと思う。長屋さんの授業は子供の考えや気持ちをどんどん取り入れて参加型の
授業をしている。コンセプトやねらいを打ち合わせで明確に話すことで、より対
話型の授業になり、地域の方と素敵な授業ができるようになると思う。

- ・木塚委員グループ：学校は地域の拠点であり、拠点としてのよさをどう生かすか
という点において、実際やっていることを地域に見せることにより人が来るの
で、子供たちの学校活動の成果を地域に見せるのはどうか。ドレミファンタジー
を無料で見せたり、ランタンアートも学校が舵取りをして学校の活動として地域
に見せてもいいのではないか。学校に呼び込むという点においては、造形展のよ
うなもので体育館を開放して地域の方を呼び込んだり。大学の人的資産を使うと
いう点においては、例えば放課後の2時間程度月一第三水曜日に中学校の体育館
で筑波大学学生による体育教室を開催し、やりたい人に集まってもらい、軌道に
のったら保護者や地域のコーチが見られるようにしたり、トップ選手にきてもら
い演技や指導をしてもらい、その後可能なら指導された中学生が小学校に行って
先輩がきたというようなコンセプトで下に伝えていくような形でやってみるこ
とはできるのではないか。体育館をダンスホールにしたりなど新たにやるとした
らこのようなことも考えられるが、今やっている教育活動をそのままリソースと
して使うのがいいのではという話し合いになった。

- ・井上委員グループ：学校の行事として吾妻まつりを位置付けてもらえるように、
吾妻まつりとしても要件を整えていくことが考えられる。例えば吾妻まつりに子
供が参加した後、吾妻まつりで得たものや成長したところを説明するようなこと
を授業に位置付けていく。これを実現するには、吾妻まつりとして子供たちを受
け入れるために考えるべきこともあるし、学校に吾妻まつりが出ていきやすい環
境を整えていくにはどうしていくのかがいいかを考える必要がある。地域と学校と
やり取りをしやすくするのに、制度をうまく使っていけるとよいと思うが、制度
の話は詳しい方の協力が必要となるだろう。学校の行事として模擬店を出したり
、いかだレースに出すいかだを作るのに、先生方に顧問やスーパーバイザーと
して出ていただく場合、手当てがきちんとでるようなことを整えることが必要と
感じる。

(3) その他

- ・板橋第十小学校長とCS推進委員長からコメントを頂いた。

5 閉 会

令和5年度第2回吾妻学園（学校）コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和5年 11月17日（金）

14：00～

場所：吾妻小学校 図工室

次 第

1 開 会

2 前回の会議内容の確認

3 これまでの学校の取り組みについて

（1）小学校より

（2）中学校より

4 協 議

（1）情報共有

・各小中学校PTAより

・地域諸団体より

（2）熟 議

・テーマ「地域の中での学校の役割」

（3）その他

5 閉 会

令和5年度 吾妻学園コミュニティ・スクール推進会議・協議会
 (第2回: 11月17日 金曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(1) 児童・生徒の保護者	津田 直会	つだ なおえ	吾妻中学校PTA 会長	出席 欠席
2	(1) 児童・生徒の保護者	秋山 英三	あきやま えいぞう	吾妻中学校PTA 副会長	出席 欠席
3	(1) 児童・生徒の保護者	金 京花	きん きょうか	吾妻中学校PTA 副会長	出席 欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	西村 大介	にしむら だいすけ	吾妻小学校PTA 会長	出席 欠席
5	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 周子	よしだ しゅうこ	吾妻小学校PTA 副会長	出席 欠席
6	(1) 児童・生徒の保護者	村谷 匡史	むらたに まさふみ	吾妻小学校PTA 副会長	出席 欠席
7	(2) 地域住民	野本 高志	のもと たかし	吾妻小学校 学校評議員	出席 欠席
8	(2) 地域住民	吉田 麻子	よしだ あさこ	吾妻小学校 学校評議員	出席 欠席
9	(2) 地域住民	今井 孝	いまい たかし	吾妻小学校 学校評議員	出席 欠席
10	(2) 地域住民	久松 尚	ひさまつ たかし	主任児童委員	出席 欠席
11	(2) 地域住民	三部 勉	みべ つとむ	吾妻おやじの会 代表	出席 欠席
12	(2) 地域住民	井上 波彦	いとうえ なみひこ	吾妻まつり実行委員会 代表	出席 欠席
13	(3) 各学校長・教職員	尾見 裕史	おみ ひろし	吾妻中学校 校長	出席 欠席
14	(3) 各学校長・教職員	諏訪 恵美	すわ えみ	吾妻中学校 教頭	出席 欠席
15	(3) 各学校長・教職員	中田 匡紀	なかた まさき	吾妻中学校 教務主任	出席 欠席
16	(3) 各学校長・教職員	園田 浩美	そのだ ひろみ	吾妻小学校 校長	出席 欠席
17	(3) 各学校長・教職員	川島 真由美	かわしま まゆみ	吾妻小学校 教頭	出席 欠席
18	(3) 各学校長・教職員	大塚 篤史	おおつか あつし	吾妻小学校 教務主任	出席 欠席
19	(4) 学識経験者	木塚 朝博	きづか ともひろ	筑波大学	出席 欠席
20	(4) 学識経験者	國府田 友康	こくふた ともやす	吾妻中学校元校長 保護司	出席 欠席
21	(5) 関係行政機関の職員	布浦 万代	ふうら まよ	市国際交流協会 理事長	出席 欠席
22	(6) 教育委員会が適当と認める者	長屋 和宏	ながや かずひろ	吾妻学園地域学校コーディネーター	出席 欠席
23					

吾妻中学校PTA 活動報告

吾妻中学校PTA
令和5年度会長 津田直会

1

PTAの目的・方針

▶ 目的（規約第2条）

1. 家庭と学校との関係を緊密にし、保護者と教職員が協力して、生徒の心身の健全な発達をはかる。
2. 民主教育に対する理解を深めるとともに、成人教育、社会教育の振興をはかり、ならびに、国際理解につとめる。
3. 生徒の福祉のために活動する他の社会団体および機関と協力する。
4. 学校並びに地域社会と連携して、生徒の教育環境の整備をはかる。
5. 会員相互の親睦をはかり、研修を行う。

▶ 方針（規約第3条）

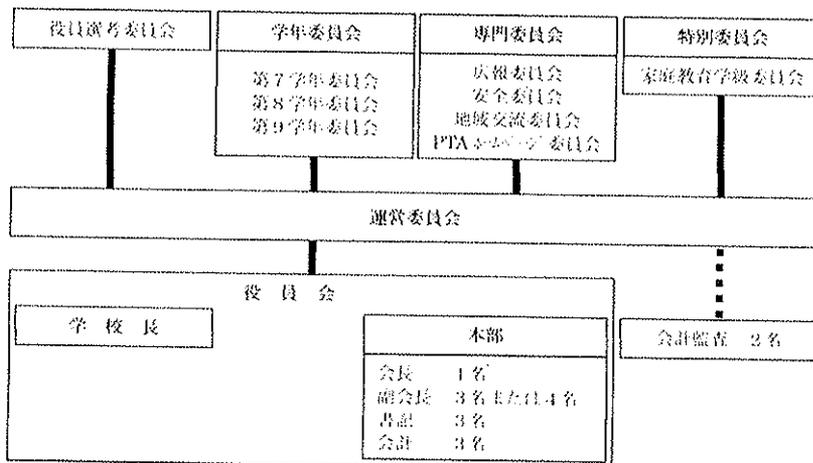
1. 本会は教育を本旨とする民主的団体として活動する。
2. 本会は特定の思想信条に片寄ることなく、また、他のいかなる団体および機関の指示、統制、干渉をも受けず、自主的な活動をはかる。
3. その他必要と認める活動をする。

▶ 吾妻中PTAホームページ <https://pta.azumajh.net/>

2

組織図 (R5年度)

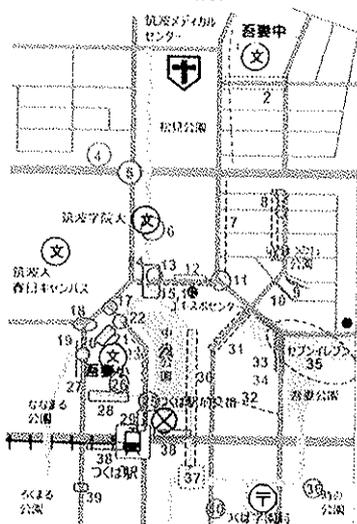
- 本部+会計監査 (保護者9人、教職員3人)
- 9つの専門委員会 (保護者59人、教職員12人)
- 会員数〇〇世帯



3

主な専門委員会の活動

• **安全委員会**：安全マップの作成 (小学校PTAと連携)



• **地域交流委員会**：吾妻まつりへの協力



• **広報委員会**：広報誌「吾妻」年2回発行



4

その他の活動

・ボランティア活動



体育祭前の美化活動
あいさつ運動
etc

・近隣学校PTAとの連携

市P連を通じ、市への要望書提出

・生徒からのリクエスト

体育館への冷水器設置

5

今後の活動

・任意団体として無理のない活動（義務感、強制感の払拭）

- PTAは生活の延長、日々の暮らしを最優先
- 出来る人がやれる範囲で活動を

・オンラインツールの更なる活用

- ボランティアの募集等でスピーディーな活動と負担軽減

・学校や地域のかになりたい保護者のマッチング

- 教育コンセプトを共有したうえで、ニーズ・シーズの把握が必要。
 - ・学校はどのようなことに支援を必要としているか（ニーズ）
 - ・保護者はどのようなことで協力ができそうか（シーズ）
- 両者の“持続可能な”橋渡し役が必要。

6

会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年(2024年)2月22日(木) 開会10:00 閉会11:50		
開催場所		つくば市立吾妻中学校 パソコン室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	国府田友康、津田直会、秋山英三、金京花、西村大介 吉田周子、野本高志、吉田麻子、久松尚、三部勉、井上波彦 布浦万代、長屋和宏 吾妻中学校：校長 尾見裕史、教頭 諏訪恵美 教務主任 中田匡紀 吾妻小学校：校長 園田浩美、教頭 川島真由美 教務主任 大塚篤史(オンライン)		
	その他	板橋第十小学校 CS 協議会 委員長 塚本忠行		
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長補佐 色川純子 係長 飯島遊、社会教育主事 村上 和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		学校評価から見えてきた課題 協議「吾妻学園 CS めざす児童生徒像の具現化のための手立て」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会	1 開 会			
議	(1) 学園長挨拶			

次 第	(2) 本日の流れの確認
	2 協 議
	(1) 第2回議事録の確認
	(2) 学校評価から見えてきた課題
	(3) 授業参観
	(4) 熟議「吾妻学園 CS めざす児童生徒像の具現化のための手立て」
	3 その他
	4 閉 会

<審議内容>	
1	開 会
	(1) 吾妻中学校 学園長挨拶
	(2) 本日の流れの確認 (吾妻中学校 諏訪教頭)
2	協 議
	(1) 第2回議事録の確認
	(2) 学校評価から見えてきた課題
	【吾妻小学校】 (プレゼンスライドを使用)
	(教頭) 学校評価から見えた吾妻小学校の現状と課題について報告
	(校長) 吾妻小学校の取り組みの紹介や5年間のビジョンおよび今後の予定について紹介
	【吾妻中学校】 (プレゼンスライドを使用)
	(教頭) 学校評価から見えた吾妻中学校の現状と課題について報告
	特に、評価の高い項目、低い項目や保護者と生徒の評価が分かれた項目について報告があり、地域と共に児童生徒の成長を支えることは大切なことであるこ

とを強調した。

(校長) 対話を通して児童生徒とともに、未来に向けて挑むことや地域の支えの大事さについて強調された。

(3) 授業参観

・委員全員が4グループに分かれ、9年生の生徒の案内で7年生と8年生の各学級の授業を参観した。

(4) 熟議「吾妻学園CS めざす児童生徒像の具現化のための手立て」

・ファシリテーターは吾妻中学校諏訪教頭が担当し、グループ討議が行われた。

【秋山委員グループ】

- ・ICTを活用した授業について、PCの使い方など、専門分野の方にその指導を依頼するなど、学校教諭の負担軽減につながるとよい。
- ・ゲストティーチャーによる授業は良い取り組みである。
- ・研究学園都市という地域性から、研究者は多いが、研究ではない（例えば漫画家等から）話が聞ける機会があると望ましい。

【津田委員グループ】

- ・自分の意見を述べるのも大事だが、人の話を聞いて受け入れることも大事。
- ・小中一貫で行っていたあずまる活動を復活させてみてはどうか。
- ・蛍池の活動に、中学生（科学部）も一緒に参加してはどうか。

【長屋委員グループ】

- ・児童生徒だけで話し合うのではなく、大人や教諭と一緒に参画しながら生徒像を作り上げられると望ましい。
- ・吾妻まつり終了後のアンケート調査、またその集計（デジタル化）を図ってはどうか。児童生徒がそのアンケートの作成から一緒に取り組むことができるとなお良い。

【西村委員グループ】

・授業がゲーム感覚で行われていて興味深かった。一方で、児童生徒の体力水準が低いことが懸念される。また、自分で考える力はあるが、それを表現でき、人を動かすまでの力をつけるべく、ゲームのような感覚で人を育て、力が育つとよい。

【金委員のグループ】

・体育際に地域の年配の方たちを招き、一部の項目を一緒に楽しむような地域とのつながり方を検討できるとよい。

・オンラインで地域の外国人と交流できるイベントがあるとよい。

・筑波大学の留学生とのつながりを検討するとよい。例えば、筑波大学の既存のオンライン交流会に吾妻中学校の生徒も参加できるか検討確認が必要。

【吉田委員のグループ】

・外国人保護者に、授業参観や「ようこそ先輩」などに、積極的に参加させることへの工夫が必要。

3 その他

・来年度に向けての今後の動きについて説明

4 閉会

令和5年度第3回吾妻学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和6年 2月22日（木）

10：00～

場所：吾妻中学校 パソコン室

次 第

1 開 会

- (1) 学園長挨拶
- (2) 本日の流れの確認

2 協 議

- (1) 第2回議事録の確認
- (2) 学校評価から見えてきた課題
- (3) 授業参観
- (4) 熟議「吾妻学園CS めざす児童生徒像の具現化のための手立て」

3 その他

4 閉 会

ホワイトボード

<第3回>

モニター

国府田友康会長

木塚朝博副会長

津田 直会
木塚 朝博
園田 浩美

秋山 英三
吉田 周子
国府田 友康

金 京花
三部 勉
諏訪 恵美

西村 大介
井上 波彦
尾見 裕史
布浦 万代

長屋 和宏
野本 高志
川島 真由美

吉田 麻子
中田 匡紀
久松 尚

傍聴席

生涯学習課

入
口